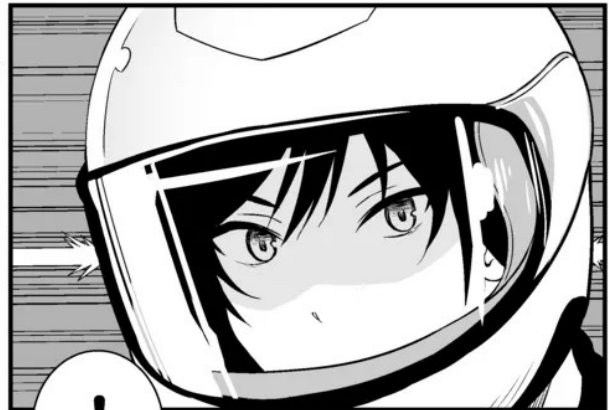
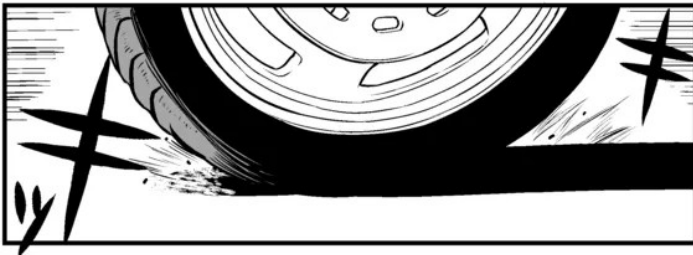




俺は天神林薫
退魔師だ

行方不明になった
母さんを探している



！
…あの鳥居
妙だな



やっぱりだ
母さんの
痕跡を感じる！



だがしかし
これは…

あそこか…?
気配がするのは



しかし
どうして
こんな場所に…

ゴッ

オ

!!



オ

オ
オ

しまった
罫か!!





おやおや
誰かと思えば



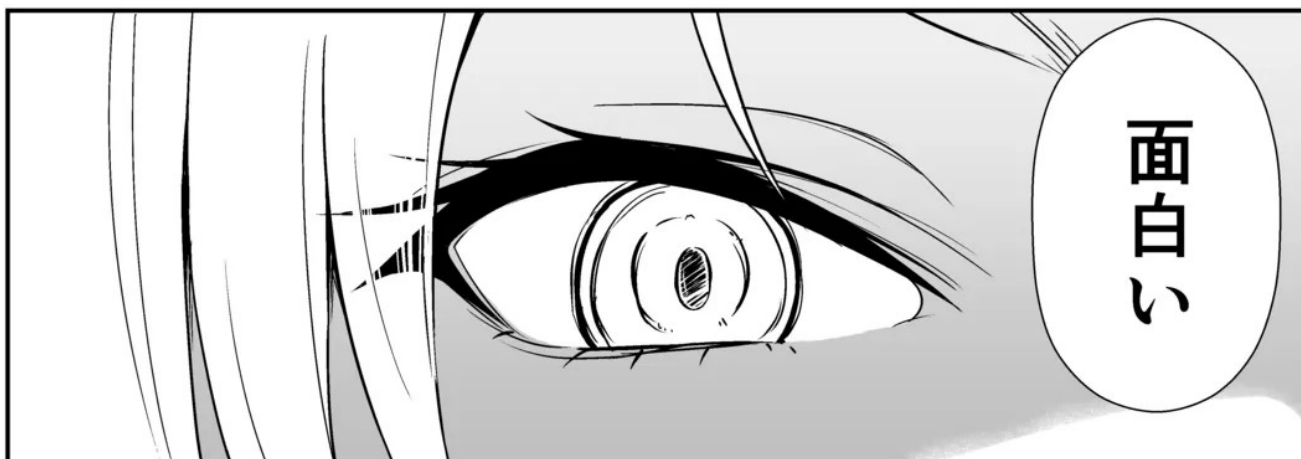
!!
いったい何が...?



あの退魔師の子か



母親の面影が
あるのう

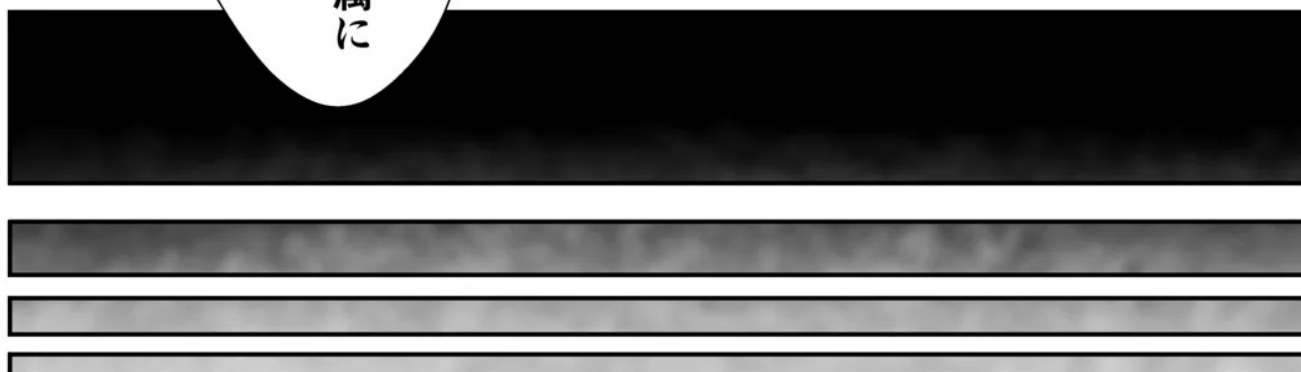


面白い




貴様も我が眷属に
してやろうぞ

何を…





私になんなりと
ご命令ください
ご主人様…



ククク…
これからたっぷり
可愛がってくれよう



母親のように…な

3年前

準備はいい？
薫

はい母さん

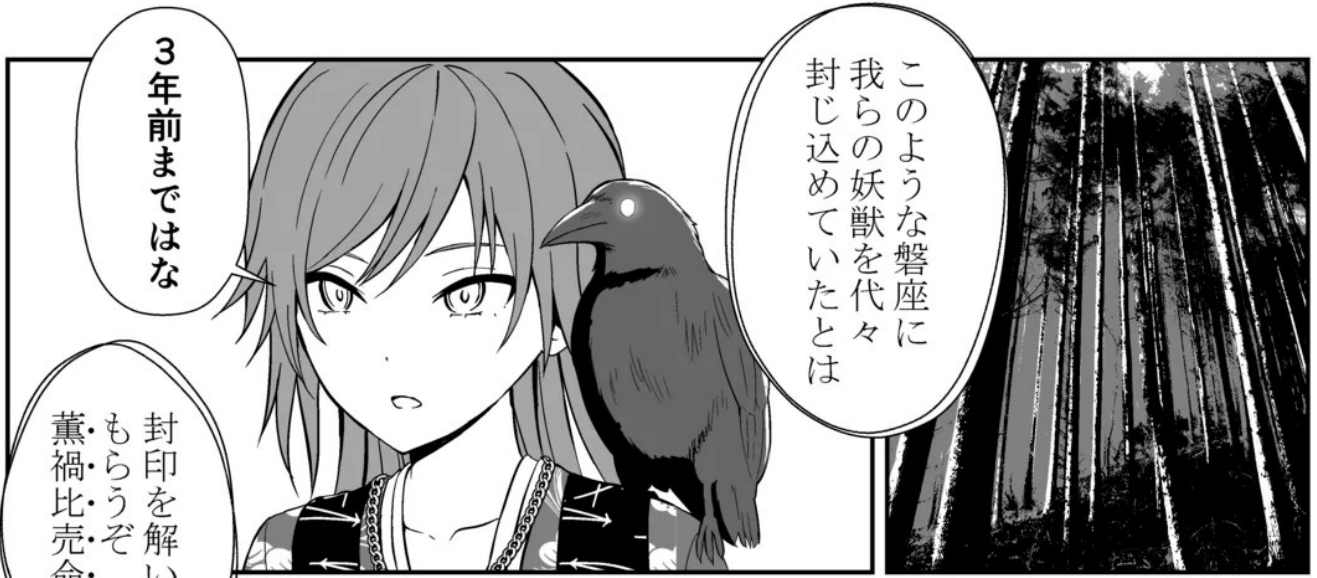


掛けまくも畏き祓戸の
大神の御前にて
妖しきもの穢れしもの
速やかに鎖し封じ給へ



神威の御力を借り受け
ここに示さん
天神林の言葉に従い
清き世へと還り給へ

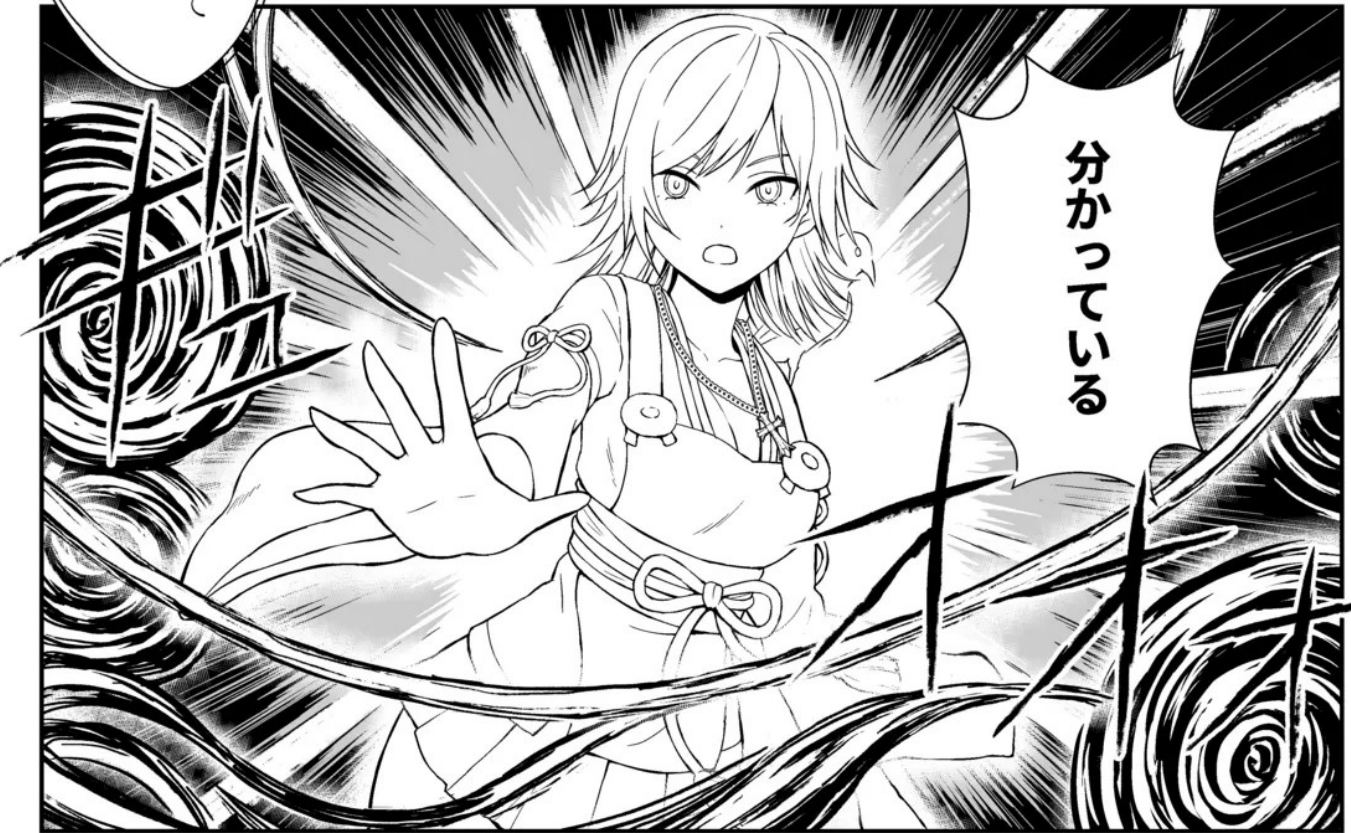
恐み恐み
も白す!!



3年前まではな

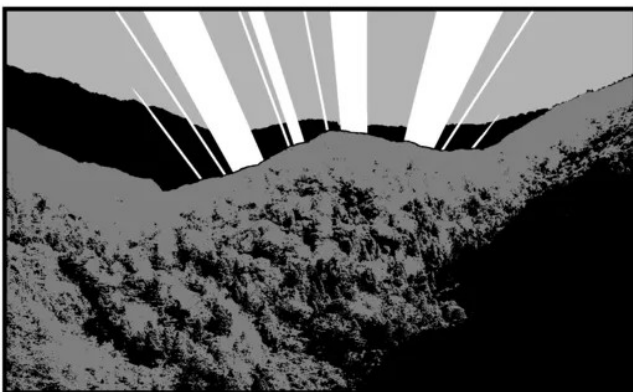
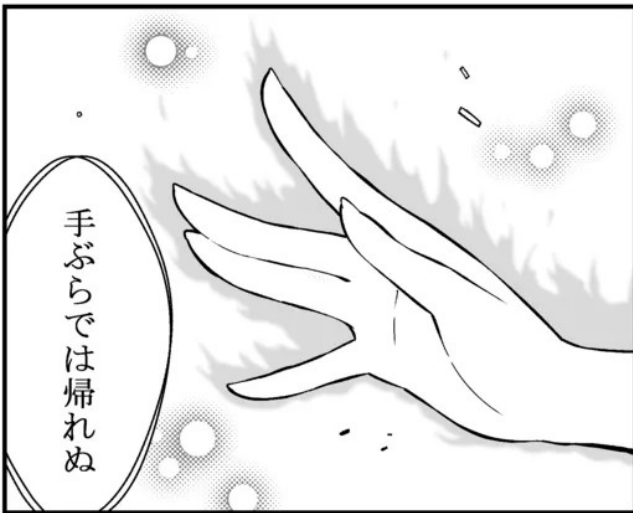
このような磐座に
我らの妖獣を代々
封じ込めていたとは

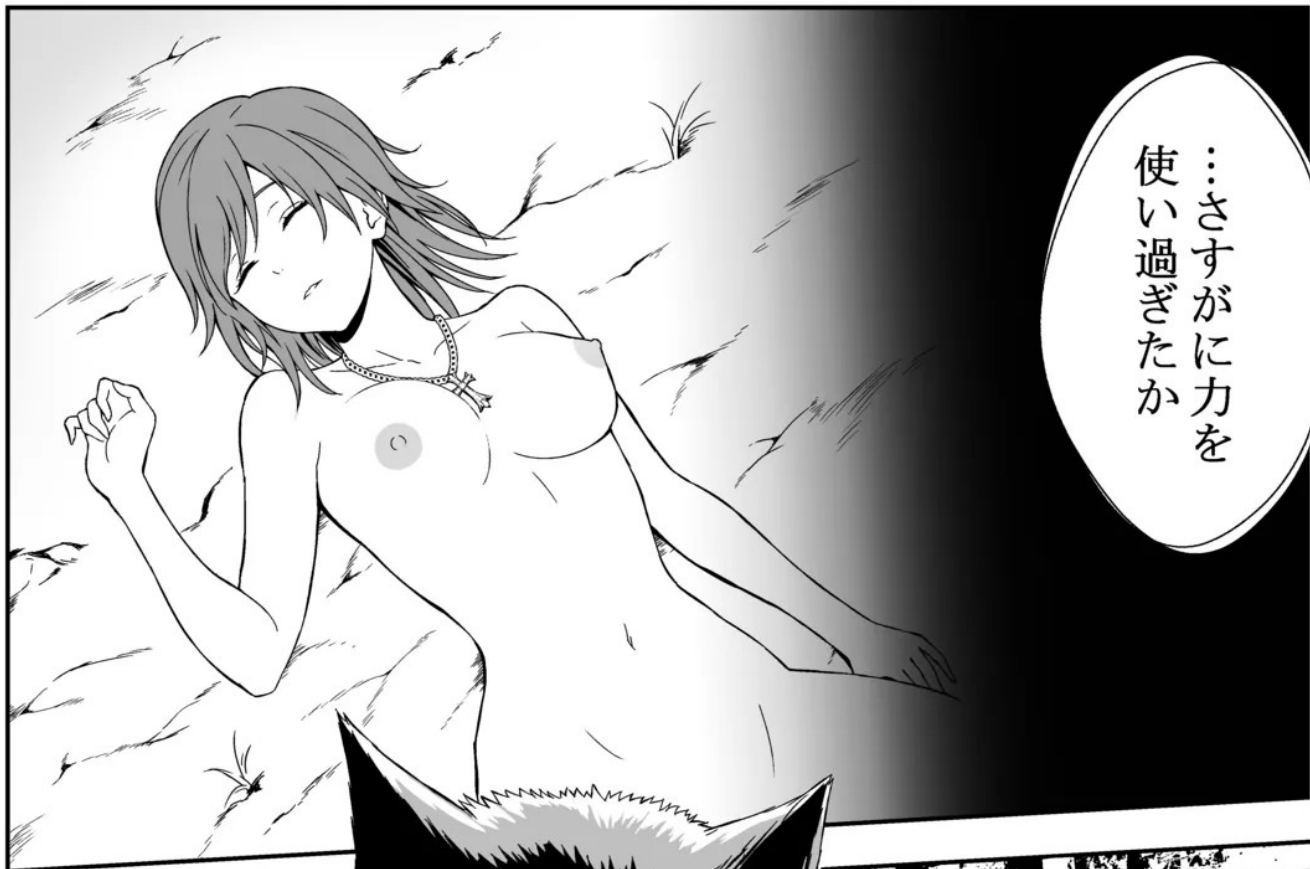
封印を解いて
もらうぞ
薫・禍・比・売・命



分かっている







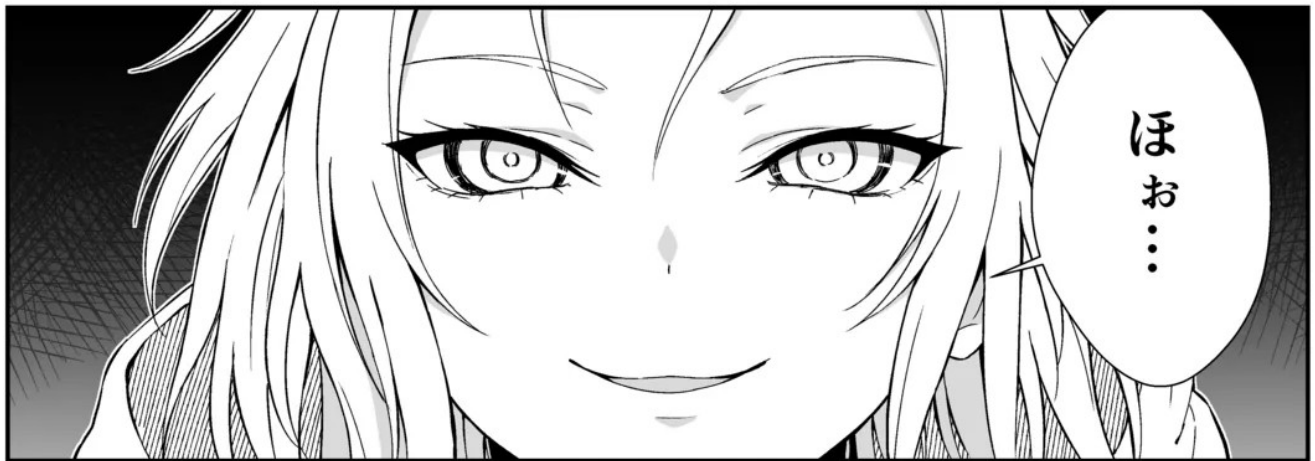
：さすがに力を
使い過ぎたか

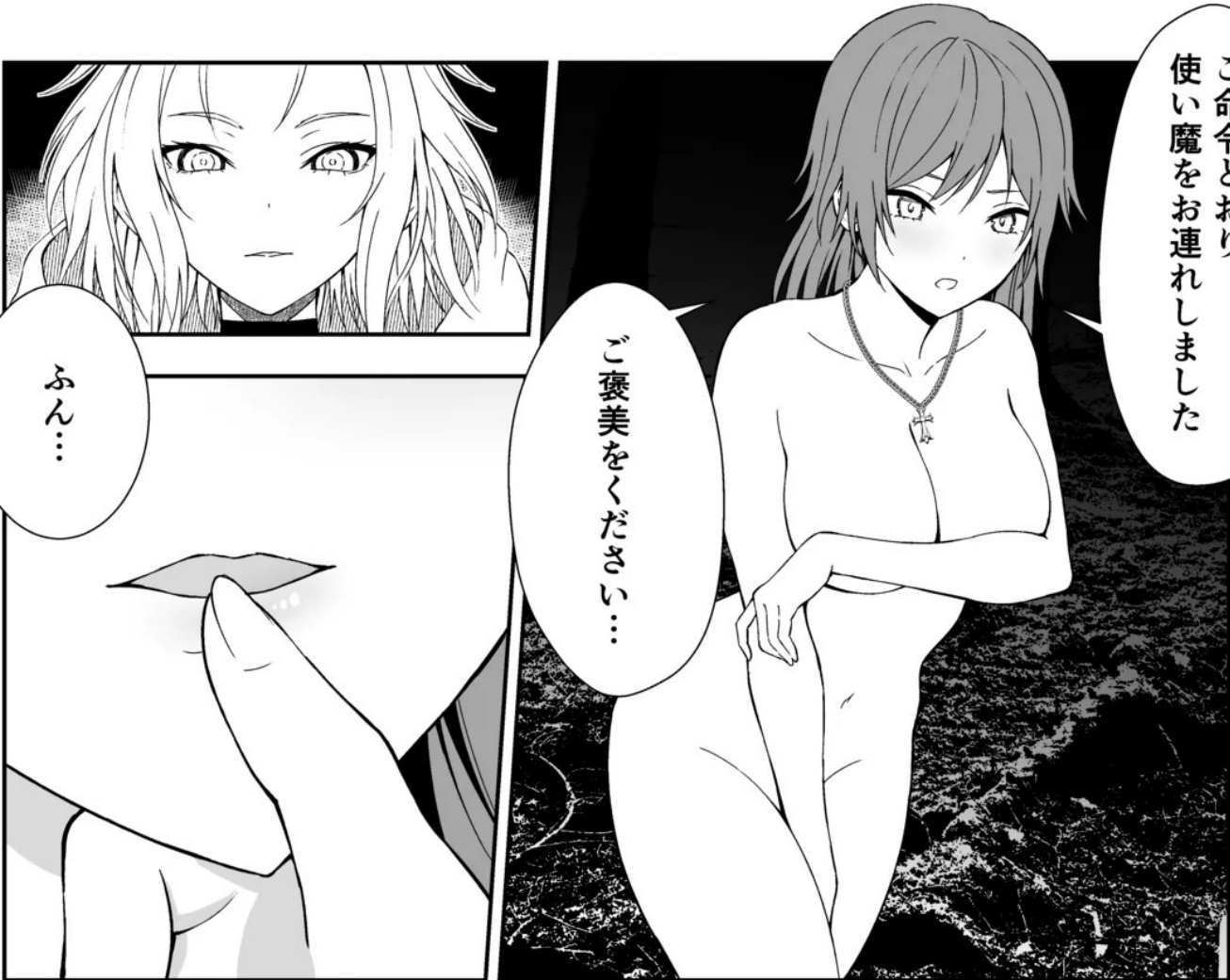


しかし

これほどのもの
だったとはな…








ご命令どおり
使い魔をお連れしました

ご褒美をください…

ふん…



女らしく
なりきって
おるな